

# 2015年 マタハラ白書 フリーコメント

【Q9】 マタハラしてくる相手から一番傷つけられた言葉は何でしたか？具体的な一言をお書きください。

- お前が流産するから悪いんだろ！
- 妊娠は病気じゃないから休むな。迷惑だ。
- 妊娠出産は **disadvantage** だ仕事がまた遅れるぞ？
- 復帰できない場合は解雇（待機児童だった）
- 任せられる業務がないから時短して欲しい
- 今後してほしい業務が無いから今後のことについて考えて欲しい
- （つわりがひどかったが）「そんな具合悪そうにしていたら客が来ない」、「（吐き戻ししてしまったら）汚い」といわれた。
- 相談なしに妊娠するな。
- 産休に入るのがわかっているのに、労基的に年俸は減らせないから、評価を下げるしかない
- 直接、妊娠を責める言葉より、「僕が全部仕事やらないといけないんだよ」という、妊娠して仕事ができない状態を責められる言葉が多かったです。
- いつやめるの？（産休なんてあるわけないでしょとも言われた）  
あなたのせいで新しい人の求人を出さなきゃいけないのよ！まったく!!
- 妊娠中つわりがひどく、直属の上司であった社長に外回りの仕事の軽減や、時短勤務（せめて勤務時間内で終わる仕事）を希望しましたが叶わず、流産。  
その翌日にその旨を電話で伝えたら労いの言葉もなく「で、いつ出社するの？〇〇さん有給休暇取りすぎなんだけど」
- 今後の体制を考えて辞めるかどうか判断しろ。
- 「私のことを考えて転部を考えてくれた」と上司は平気で言った。
- あんた、腹ん中数ミリしかないのに何ミス連発してんの。（当時、悪阻と貧血でタクシーで出勤しており、また集中力もかなり低下してケアレスミスが1日に数回あることもあった）
- 降ろす覚悟で働け
- 一生懸命しないと更新はない
- 妊婦として扱うつもりもない
- 特別扱いするつもりもない
- 次々と妊娠して行って、誰が仕事するの？
- 別の仕事はないから
- 業績が悪化したので復帰は無理です。
- （上の子が入院手前の病気の時）このままでは〇〇さんも会社も不幸になる。お子さんと育児に専念したらどうですか？
- いいかげん部署に貢献して欲しい。
- 妊娠するとわかっていたら、君なんか雇わなかった
- 女性の上司から「みんなに迷惑をかけるのだからすまないと思いなさい」と言われた。
- つわりがキツく、3週間以上休んで後、出勤してきたら、部長から「君は退職したんじゃないの？」の言葉。辞める気ないし、辞めるなど一言も言ってないのに。
- 今は子育てがいちばん大事なんだから、他のことはせずにそっちに専念しなさいね。

- えー妊娠したの？ 迷惑だなあ。私が管理している職場で妊娠されると、他の人にまで妊娠が伝染るんだよね。◎さんとか◆さんとか危ないし。ホント困るわ
- 子供 3 人も育てながら正社員の総合職は全うできないでしょ？ 実務職に変更できる制度もあるんだからね。
- 子供、子供って言えばなんでも許されると思うなよ。(そんなことは実際一言も言ったことはありませんが…)
- おれは「ママ社員」とかって言葉が大嫌いなんだ。(これは会社の総務が勝手にそういう呼称を
- 結婚して妊娠した後、残業や営業の仕事が普通にできるの？
- 子育てのために、仕事がおろそかになると、周りに迷惑がかかると思わない？
- 結婚出産後に仕事ができる女性の前例はないから、子育てを優先した方がいいよ。
- 同じ会社に旦那さんも働いているから、あなたがきちんと仕事をしないと旦那さんも会社に居づらくなるんじゃない？
- 妊婦なのに自覚していない。
- 「あなたがどうなるのが私は知らない」
- 悪阻がひどくて点滴をしながら生活をしていました。電車に乗ると貧血で倒れてしまう中で、上司 3 人に呼び出され、本当に仕事する気があるのか！ と恫喝され、妊娠は自己責任だと罵られました。
- 出産しながらお金をもらうために会社を利用していると言われ、もう会社に戻れない気持ちにさせられました。
- 悪阻で自宅勤務だった時期、バケーションを楽しんでるんじゃないかと揶揄された事。
- 産休を取ったとしても産休明けに戻る場所はない
- 出産後急に休まれるとこちらも困る。それでも休まず頑張るといふなら話は別だけど。
- 会社に妊産婦がいるなんて嫌だから、墮ろせば？
- 直属の上司から仕事を続ける為に妊娠をやめませんよねと言われた。
- 派遣元に更新するなら契約内容の仕事(力仕事を含む)は休まずやる事を、つわりが酷かった初期の切迫流産出血がある時期に言われた。
- 妊娠を報告した所妊婦なんて転勤先で役に立たないと言われ、決まりかけていた移動を取り消されました。
- 人事部にはこのタイミングで妊娠した私にも非があると言われました。
- 出産は同僚や児童に迷惑をかけないように、学期末に生みなさい。
- 会社としては妊婦を雇えない
- 産休、育休に入る人を昇格させても仕方ないと思う、と言われた。
- (妊娠を伝えたとき) で、いつまで働けるの？ 求人かけるから。
- 社長からは戻る場所はない、お前を戻すなら誰かを辞めさせないといけないと言われた。
- 見苦しいから座るな
- 産休を取る時点でも迷惑なのに、復職してからも子どもの件で休みを取ることが増えるだろう、という事を責められた。
- 子供の体調不良は、母親失格なんじゃないの。
- 妊娠？ それで？ どうするの？ 産むの？
- 今、あなたがやっている仕事は代わりがないから、休みが取れない仕事だからね。覚えてお
- よくそんな犬みたいにポロポロ産めるわね

- 妊娠初期で働くなんて、あなたじゃ無理だと思う
- つわりでも頑張っている人もいますよ
- 健康な人を働かせたい
- 法律がそうでも、うちは違うから。
- 君の居場所はない。みんなから浮いている。
- 制度がない。
- 予定日がその日ということは・・・いつ”した”のかわかったよ
- 子供にお母さんは必要。家で面倒を見るべき。
- 「この忙しい時に休みやがって」
- 通常の制服が着られなくなった時点で辞めてもらいます。
- （出産は11月末）2月までに復帰しないと席はない
- 子どもをおろさないなら仕事は続けてもらえない
- 男性課長（人事担当の幹部）に二人目の妊娠を報告した時。  
祝いの言葉はなく、第一声に「頭が痛い。コマがないんだよね。」
- 直属の男性上司が、気軽な会話の中で  
「ボコボコ子ども産んで休む人に重要な仕事を任せられないでしょ。」
- 子どもを育てるのを諦めるか、収入得るのを諦めるかだな
- 妊婦が職場に居ると、お客さんも、社員も気を使う。妊婦は家でのおんびり過ごしていればいい
- 健常者と同じように働けないのに仕事はない」
- そんな腹をして職場を走り回られたらこっちが気をつかわなきゃならないだろう。
- 妊婦さんや出産直後の女性を保護する法律はありますが、流産した人を保護する法律はありませんから、やめてもらっても違法にはならないんですよ。
- 急に妊娠したと、言われても困る。
- 無計画に子供をつくられて会社は迷惑している
- 保育園も希望通りに入れられないくせに働きたいなんて凶々しい
- 他の社員たちも戻ってきてほしくないと言っている。戻って来られると迷惑、士気が下がる
- みんなが迷惑している。
- (男なんだから)悪阻なんて分かるわけない。何時何分に悪阻が収まるのか証明書でも出してもらわないと、対応のしようがないでしょ。
- 法律違反しているのは分かっているが、会社のために辞めてもらいたい。
- また妊娠したの？
- 子供は一人でもいいんじゃないの？
- 仕事は計画している。勝手に妊娠されて困る。
- 無視 挨拶をしてもらえない 大事なことを私が不在時に伝達し、私に伝えてもらえない。
- 妊娠しても働かなければならないような住宅ローンを組むなんておかしい。
- 君は給料をもらいすぎている。
- シングルマザーでないのだから、経済的に困ってないだろうから、無理して働くことはない
- 妊娠中は何かあるかわからない、迷惑がかかる前に辞めるべきと言われた
- 事務局や新人の給料が下がるのが私一人の責任であるかのような発言
- 言葉ではなく、降格と減給。
- だから女性は雇いたくなかったのよ。

- 妊娠している人に仕事は務まらない。
- 仕事を遠慮してくれ
- 派遣会社に当時、妊娠に関する規約がなかったのがショックだった。
- 産休制度、育児休暇制度はないと言われた。
- 重症悪阻で出勤できなくなったら、直属の上司から、「期待していたのに、本当に裏切られた。これから任せられる仕事がない」と言われた。
- 人事から、「旦那さんだって働いてるんだから、無理して働かなくても違う生き方があるんじゃないか」と言われた。
- 産休明けに復帰できなければやめてもらいます。
- 妊娠を告げた途端「今日は机の上を片付けてもう帰りなさい。あと今月はもう来なくていいから。」と言われました。
- 妊娠・産休・時短は、みんなに迷惑だと思わないか？
- 復帰してもどうせ子供を理由に休むんでしょ
- 残業しない仕事なんて、仕事ではない
- 安定期に入ってから、直属ではないが関連部署の上席に妊娠報告をしたところ、「報告が遅い。俺の顔に泥をぬったな。どうしてくれるんだ。上司と謝罪に来い」といわれた。
- そんなぐらいで流れるなら、もともとダメな子よ。
- 何とか続けてもらえないか？病気じゃないんだから
- 産休明け社員がもどってくると組織のバランスが壊れる
- 俺は俺の稼ぎだけで嫁さんを食わせるつもりで、妊娠させる
- 育児しながら、前と同じように働けるか証明してください
- 保育園のお迎えがあるので定時に帰宅していたら、残業をしている独身男性職員から、「公務員がいる」と揶揄された。
- 周りに迷惑かけるから、きちんと挨拶しなさい
- 残業できないベテランより、いくらでも残業できる新人のほうがマシ。残業できないなら戦力にならないから必要ない。
- 「●●さんは子どもいても休んでいないのに」
- 出産頑張れ会を開くといわれ、出席したら私の送別会だった。
- 産むなら辞めて。おろすのは簡単、10数えたら終わってるから。
- （周囲に）辞めさせたいから、理由を集めている。始末書を書かせられるような不始末はないか
- アルバイトになるか、辞めてもらうしかない

【Q28】 マタハラについてご意見があればお書きください。

- 私は2回流産しました。流産すれば女性はただでさえ自分を責めることになります。そのうえマタハラされれば、後悔の理由を増やすことになり、精神的痛手は一層深く、妊娠に対して前向きになれなくなってしまいます。マタハラは女性の人生だけでなく、その周りの家族の人生・将来まで巻き込むものであり、日本の少子化に拍車を掛けるものです。非人道的行為ですので、1日でも早い改善を願って止みません。
- 妊娠出産をしたことがない人に気持ちや大変さまで理解してもらいたいとは思っていない。ただ法律や社則で定められたものの範囲で行使することに文句を言われたり、邪魔をされたりするのは明らかにおかしい。
- 長時間勤務して結果を出す人＝優秀な人材、という考え方が正義だとされている間は、何も解決しないと思います。
- 働きながら子育てして、普通に暮らしたいだけで、何も輝きたいわけではないことを、政府・組織・上司にはわかってもらえないんだな、と、ギャップを感じています。
- 子育てに対する社会的バックアップがないと苦しい。
- 女性上司に子供がいなかったためか理解がなく、長時間労働とストレスを強いられ切迫早産になり、出勤できなくなりそのまま出産、退職した。「復帰しても子供がいるからって色々優遇はできない」と直接言われ、子供を持ちながら働ける環境にはないと思った。
- 妊婦には産休まで何もなく元気な人もいれば、症状が重い人もいるということをもっと知ってほしい。また、産院ではもっと職場に強く働き掛けて欲しかった（自宅療養が必要・時間短縮が必要という書類などを出してほしい）。
- 女性に対するハラスメント、とくに妊娠・子育て中の男女への会社からの心無い言葉や態度は本当に悲しい。
- 出産後すぐに復職し、しばらくして管理職への打診があったので、家族の協力をもとめてOKを出したが、突然覆されました。理由は、子供が小さいから、と。  
差別ではないか、とコンプライアンス部に申し出て、話し合いの場を設けられたが謝罪のみで、管理職への道は絶たれました。その後3年働いたが、待遇の改善はなく、独身女性のみ昇進していくのに苦しくなり退職。
- 働く姿勢をしっかりともっている女性には、たとえ子供がいようとも関係なく正しい評価を。長時間働いているのは正ではないことを訴えたい。
- 企業に罰則を設け、また形ばかりに罰則を設けただけではなく、実際に実施する。そうしないといつまで経っても無くならない。妊娠をきっかけに仕事を辞める女性が増えれば日本の経済成長に著しく影響がある事を厚生労働省だけでなく経産省などにも理解を広めてもらい企業への働きかけを積極的にしていただきたい。
- 足りていないのは知識や理解ではなく、フレキシビリティだと思います。妊娠出産に限らず、自己都合で仕事時間を減らしたい状況は誰にでも起きること。なのに労働時間の長さで会社への忠誠心を測っているのが現状。
- 子どもをもっている女性上司がもっと増えるとよいと思います。私もマタハラ、セクハラを改善する女性管理職を目指しています。
- マタハラの経験から、仕事を続けたかった私はもう二度と子供なんか産まないと心に誓いました。
- 希望した方々が、皆に温かくおめでとう、無理しなくて良いからねと言ってもらえる会社を当たり前にしてほしいです。

- 働き方を変えられない男性中心社会の概念を変えないと無くなりません。
- この状況で出生率が増えるはずもない。
- 第一子のときもマタハラを受け、そのときは派遣社員だったためにかなりもめました。契約打ち切りとなり、失業保険がすぐ降りる状態になりました。女性労働者の大半は非正規雇用者です。法整備を急いで欲しいです。
- 女性の地位、労働者の地位が低いためにマタハラが起きてます。
- 実は独身女性上司の妊婦への扱いは酷い。経営者層の意識改革及び法律遵守が火急と思われまます。
- そして社会が大きく他の先進国のように意識を変えねばならないと思うところですが、安倍内閣は「働いて、妊娠して、子育てして、食事を作って」と女性を使い潰すことを輝いていると勘違いしている感が一番の不安です。
- 社会で子供を育てる共通認識の必要性。
- 特に男性の意識改革、働き方を変えること。残業しない社会作り
- マタハラはいじめ。子供のいじめより大人になってからのいじめの方がひどい。まず、女性や子供、
- 男性が法的に育児に参加する規制があれば、長時間労働軽減、家族と過ごす時間が増え、間接的にマタハラも減っていくはず。
- 人を大事にする。環境を良くする。そうした社会を目指す政治が必要。
- 法的に厳罰化して欲しいし、法律の周知徹底は特に必要
- 育休後は時短勤務をさせていただきましたが、職場の人手不足で他の人に迷惑がかかってしまっていることに精神的に耐えられなくなり、結局退職しました。育休のお金の支給よりも時短勤務時のその分の会社への補助や時短分の穴埋めの人員確保の義務化などあればいいのにと思いました。
- 社会に、子供を育てながら女親が仕事をしていくという厳しい現実を、知ってほしいですし、そういう問題を抱えた女性を排除することで解決するのではなく、向き合ってくれる上司が増える社会になることを望みます。
- どのような言葉が妊娠・出産する女性を傷つけるのか、わかっていない男性上司が多い。男性の年齢は関係ない、意識の問題。若くてもマタハラ発言を平気とするような人もいる、本人は無意識なんだろう。指摘されてようやく気付く。日本社会全体の、女性に対する意識の問題。法的に擁護されていかなければ女性はずっと泣き寝入り。
- いかに法律を整備しても、経営陣の価値観がそれに沿う物でない場合、マタハラ問題はなくならないと思います。私達女性社員も、法律の知識があっても、その職場に居続ける為にはどうしても事を大事に出来ません。
- 妊娠出産する社員が出た会社はその時取った措置を必ず労働局に報告する、などの義務を課すなど第三者からのプレッシャーが欲しい所です。
- 労働基準局に相談しても、『事業主側に法的に罰することはできない、あなた自身で訴えるしかない』と言われた。狭い業界なので一度訴えれば違う職場に就職したくても今後の就職に必ずひびく。個人で訴えなくても、法的に罰することができればいいと思う。
- 妊娠・出産・育児に対して、世間の男性の考えは、女性をととても見下していると思う。
- 義務教育の時から男性に対して、妊娠・出産・育児等の教育をすべきだと思う。
- 働きたいのに働けない、辞めさせられる、そんなのって絶対おかしい。子育ての大変さ(精神的・肉体的・金銭的)をわかって欲しい。
- 女性は自分の身に関係することなのでアンテナが高いが、男性はこういった問題への意識が低い。具体例を持ち寄って、こういった言葉がマタハラになる、ということのを皆でシェアするべき。

- 女性は家にいるもの、女性は使い捨て、変わりはいくらでもいる、という考え方をする男性が全員退職するまでなくならないと思う。さらに子育て経験者の女性の方が産前の体調不良に厳しいことも多いと聞く。結局、妊娠している方は子どもを守るために泣き寝入りで退職するしかない。企業に資金と人員の余裕があれば産休もとれるかもしれないが、そんな会社は少ない
- マタハラと言う文字を見るだけで会社からされた事を思い出しくなります。
- 上からの圧力が強すぎて意見出来ないため法律を厳罰化してほしい。
- マタハラと言うものをもっともっとメディアで発信していかないと、きっと多くの会社は見て見ぬ振りです。
- マタハラによるドミノ倒しとはまさにこのこと、という状況を体験しており  
「あの時もっと自分にマタハラ対策に対する知恵があったら」と今でも思います。
- 本来幸せなはずの妊娠・出産。何故代わりにこれほどまでに多くのもの（仕事、収入、社会とのつながり、キャリア、将来の夢）を失わなくてはならないんだろう、と本当に形容しがたい悲しみがあります。私のこれまでの人生は何だったんだろう、と。
- マタハラは、女性の人生を 180 度変えてしまいます。
- 妊娠・出産は「悪」なのかとマタハラをする方々には言いたいです。
- マタハラで会社を辞めた後で、辞めなければ受けられたであろうお金や待遇があることを知った。その時点では追いつめられていて、辞めるしかなかった。マタハラで仕事を失えば、また社会復帰する努力を、他の産休をとったママさんの何倍もしなければならないことを知ってほしい。
- 産休拒否されて泣く泣く退職しましたが、産後また就職活動をすればいいと思っていました。職がない状態で保育園を探すのも、預け先が決まらない状態で職を探すのも難しいことだということに後で気付きました。
- 娘が成長した時に、笑い話になることを祈ります。そのためにワーキングマザーを続けます。
- 長時間労働が改善されれば、かなり働きやすくなると思う
- 少子化の今も、まだなおマタニティハラスメントがあること自体、日本社会が男性優位の思想をいつまでももっているということだと思います。
- 政治も含めて、命を生み出す性への尊厳と、真の男女平等に、社会の意識変革が必要だと考えます。
- 悪阻の無かった女性の同僚から、マタハラを受けました。男性職員の方が理解がありました。
- 同じ思いを子ども達に経験してほしくありません。
- この問題を解決しなければ、少子化問題や長時間労働問題、雇用人員不足問題などなど全ての労働問題に繋がると思います。
- 非正規雇用については、正規雇用よりも立場が弱いので、すべてにおいて泣き寝入りしなければならない現状が多いと感じます。さらに、個人的な考えとして、有期雇用においては、産前産後の期間を、雇用契約期間に含めない、などの、法改正も緊急の課題なのではないでしょうか。
- 同じような立場にいる女性でさえ、他人にマタハラ発言をしてしまう・・・「自分さえよければ」ではなく、相手の立場に立って考えたらそんな言葉は出ないでしょう。  
上司の理解不足ももちろん問題ですが、女性一人一人が意識を変えていかなければいけないと思います。
- 正社員は法律、就業規則などでまだ守られているが、派遣やパートなどの非正規でも安心して妊娠出産できるように法整備やマネジメント層への周知徹底をしてほしい。
- マタハラで退職してからの仕事は、どんなに頑張っても、どこも非正規ばかりでした。結局、何のキャリアも積めないままこの年になってしまい、残念に思っています。

- 人間は機械ではないので、人間の営みを無視した労働環境は、仕事のパフォーマンスの低下にしかならず、結局は会社にとっても、ひいては社会にとってもマイナスにしかならないと考えます。
- どう対処すればいいか相談を気軽に休みの日を使って行ける場所が欲しい
- 休みやすい職場環境がなければ、たとえ、子供が病気でも休みづらい。
- 私が勤めていた当時、そんなに忙しそうでもないのに有給を取らない人が沢山いました。まずは、そういう人達に有給を取ってもらいたいです。
- 女性も男性も、共に安心して妊娠・出産・子育てができる生活環境、職場環境というのは、全ての人が安心して暮らせる環境だと思います。
- 今の経営層である50代~70代がいなくなると、時代は変わっていかないと思う。
- やった方はマタハラを意識はなく、むしろ会社にとっての正義だと思っているのが問題だと思います。
- いつか「女性の活用」などという言葉がなくなるくらい、どんな女性も普通に働ける社会になることを願ってやみません。
- 同じ会社で多様な働き方が認められ、ライフステージに合わせて職種や勤務時間を変えていければ、結局その都度条件に合わせて勤務先を変えるしかないと思う。
- 都市部より地方はもっとひどいです。地方の中小企業に勤めていましたが、ハラスメントが横行しておりマタハラどころではありませんでした。
- 長年働いて売り上げも上げてきた自分に、まさか会社が不当扱いをするとは思っていませんでした。何度も話し合いましたが、法律より会社の持論が優先との事でした。
- 妊娠出産は女性なら誰にでも起こりうる事です。  
このような待遇が許される事に怒りを覚えますし、労働局のマニュアルっぽい積極的ではない対応にも不信感無力感を感じました。
- 長時間労働で主に男性が残業している就労携帯が横行していることで、家庭に費やす時間がなく、生活意識が男性に欠落している人もいます。働く女性は子育ても仕事も両方こなして、女性への負担が大きい。女性が輝く社会の実現をするためには、女性の働く環境だけでなく、男性に横行する効率の悪い長時間労働も整えるべきでは。企業レベルの取り組みではなく、国が先導する形で意識改革に取り組むべきではないだろうか。女性も男性も仕事を続けながら、産み育てる環境を整えることが必要なのではないだろうか。
- 早くマタハラのない社会になってほしい。もし二人目妊娠の際にもそのような思いを考えると、子作りをためらう。
- 日本社会でもっと意識改革と改善が必要だという事が私を含め多くの人々の体験から強く思いました。今後すぐにも女性も働きやすい社会になってもらいたいです。